



思いがけない結婚

恵寿総合病院 内科 谷 まゆこ

女性医師の窓のコーナーのお話をいただき、昨年思いがけず結婚することができたので、このことについて書かせていただこうと思います。

医師として仕事を初めて7年目になります。恥ずかしながら生活のほとんどを職場で過ごす日々で、いつの間にか年齢も30歳台半ばが目前に迫っていました。のんびりとした気持ちで構えていましたが、同じ年頃の友人は結婚をして家庭を持っている人が多く、周囲からは結婚の心配をされる機会が増えていました。いつか結婚したいという希望はありましたが、生活の幅を広げる余力も、それを淋しいと感じる余裕もなく、まだまだ先の話に思っていました。

時折、女性同士で食事や週末の温泉旅行に出かけ、夏休みには時差のない範囲で近場の海外旅行へ行き気分転換をする…日常生活で異性との接点を求めて外に出るということもないまま、目の前のことに対応するだけで時間が過ぎて行く日々になんにも幸せを感じ、晩婚の道をまっしぐらに進んでいました。

飾り気のない地味な生活をしていましたが、地道に生きていけばいいこともあるもので、一昨年職場で初めて出会った人と、その一年後には入籍するという予想外の出来事が起こりました。あっという間に話が進み入籍まで済ませてしまいましたが、昨年度は職場が違うこともあり、入籍してからも夫が週に数回帰ってくる程度の通い婚でした。お互いに仕事をしているため、時間を調整しながら一緒に過ごす時間を作っていました。

この春からは二人そろって七尾へ転勤となり、初めての同居生活が始まりました。自宅で一緒に過ごす時間が増えるかと思っていましたが、当初は仕事に慣れなかったこともあり、私が寝てから帰ってくる夜型の夫と、夫の寝ているうちに職場へ出かける朝型の私とのすれ違いの多い生活でした。今では徐々に仕事にも慣れ、週末には一緒に出かける時間を作るなど、夫婦の時間を持てるようになっていきます。

月日がたつのは早く、入籍して早くも9か月目に入りました。そのうちにとっていた結婚式の日も近づき、そろそろ式に向けての準備も本格的に取り掛からなくてはなりません。当初は諦めていた新婚旅行にも、夏休みを使って行かせていただけることになりました。職場の先生方にはご迷惑をおかけすることとなりますが、人生で一番大切な時間と思い、挙式の後、今回は時差のある場所への旅行に行きたいと思っています。

多くの方に支えていただき今の生活があることに深く感謝しています。二人で過ごせる時間を大切に、お互いを支え合いながら、医師として、また家族として成長していけたらと考えています。

最後になりましたが、結婚を応援してくださり、また夫婦と一緒に過ごせるようご尽力いただいた医局の先生方、プライベートな話にも関わらず私たちの新婚旅行を快く了承くださった職場の先生方に、この場を借りて心より御礼申し上げます。